

第55期中央労働講座 報告書

この度6月6日～6月8日迄の三日間中央労働講座に参加しました。

はじめに鈴木龍一副執行委員長から「組合運営について」講義して頂きました。組合運営とはどうあるべきか、賃金引上げや労働条件の向上は重要であります。しかし現状の組合員の要求は、精神的な安定を求めているのではないかと、グループ討議を行い若い世代の組織離れでの労働対価だけではなく、福利厚生で何か出来ないかグループで意見交換をしました。6月7日にて鈴木誠一中央執行委員長から「全国港湾の成立ち」を講義して頂き、全国港湾結成の歴史、24春闘での経緯を学びました。また畠山昌悦副執行委員長からは、「労働基準法」を講義して頂きました。テスト問題では何も解らなく間違いが多かったです。今後は労基法の正しい知識を身につけたいと思いました。午後のレクリエーションではドッチボールで親睦を図りました。今回の労働講座を経て学んだ事を参考にしながら活動に活かしていきたいと思えます。

全国港湾八戸通運支部通運分会

三浦祐理